

<毎月決算型>

第126期末 (2024年1月22日)	
基準価額	10,053円
純資産総額	50億円
第121期～第126期 (2023年7月21日～2024年1月22日)	
騰落率	6.4%
分配金合計	300円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

<年2回決算型>

第21期末 (2024年1月22日)	
基準価額	19,625円
純資産総額	26億円
騰落率	6.4%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ 世界高配当株ファンド

(毎月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合

運用報告書 (全体版)

作成対象期間：2023年7月21日～2024年1月22日

<毎月決算型>

第121期 (決算日2023年8月21日) 第124期 (決算日2023年11月20日)
第122期 (決算日2023年9月20日) 第125期 (決算日2023年12月20日)
第123期 (決算日2023年10月20日) 第126期 (決算日2024年1月22日)

<年2回決算型>

第21期 (決算日2024年1月22日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型) / (年2回決算型)」は、2024年1月22日に決算を行いました。

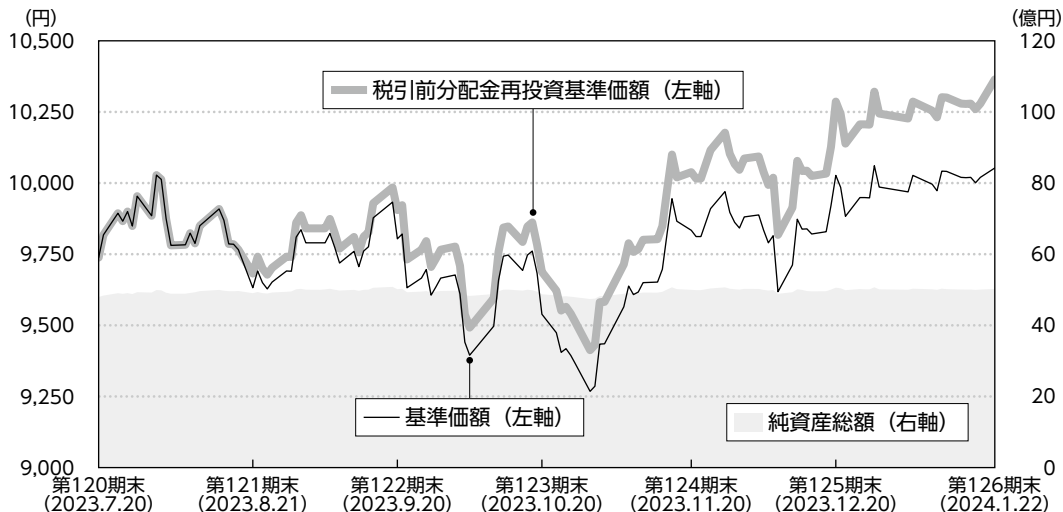
各ファンドは、「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス」への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート(不動産投資信託)等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過

2023年7月21日～2024年1月22日

基準価額等の推移



第121期首	9,738円	既払分配金	300円
第126期末	10,053円	騰落率 (分配金再投資ベース)	6.4%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の変動要因

<上昇要因>

- ・11月上旬から12月下旬にかけて、インフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下や、生成人工知能（AI）の需要拡大による米大手半導体企業の良い業績発表などが好感され株価が上昇したこと
- ・投資家のリスク選好姿勢や日銀の金融緩和継続姿勢を受けて、当作成期を通じて見るとおおむね円安が進行したこと

<下落要因>

- ・8月上旬から10月上旬にかけて、大手格付け会社による米国債の格下げや米金融引き締め長期化への懸念等を受けた米長期金利の上昇に加えて、中国における景気減速や不動産問題の深刻化、中東情勢の緊迫化などが嫌気され株価が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第121期～第126期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	61円	0.627%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,776円です。
（投信会社）	(16)	(0.167)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(44)	(0.447)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(1)	(0.014)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	62	0.630	

(注1) 作成中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

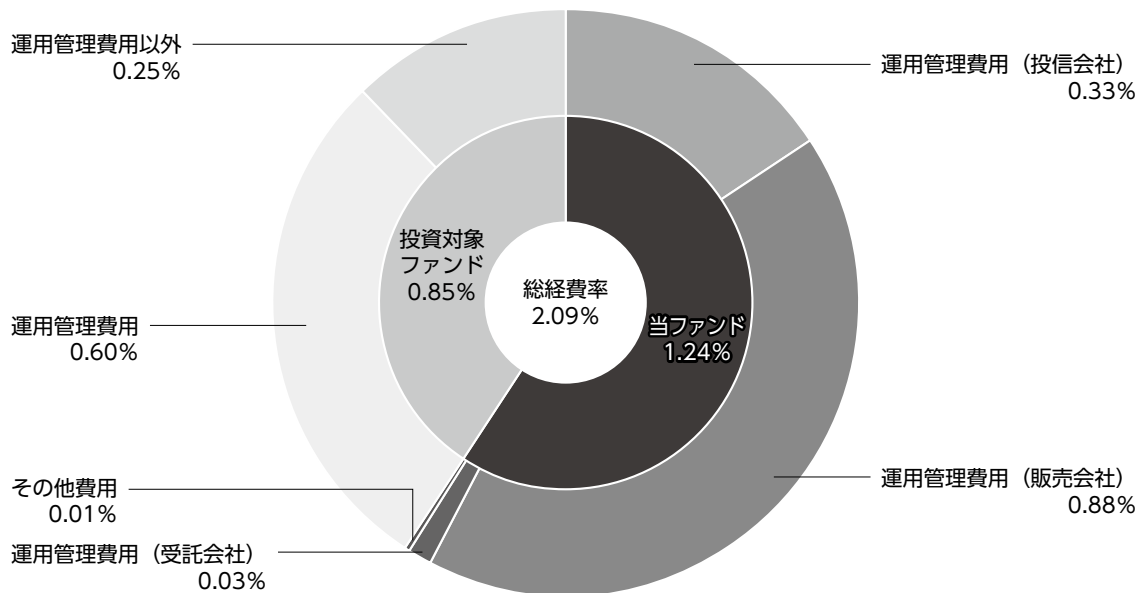
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.09%**です。



総経費率 (①+②+③)	2.09%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.60%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.25%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

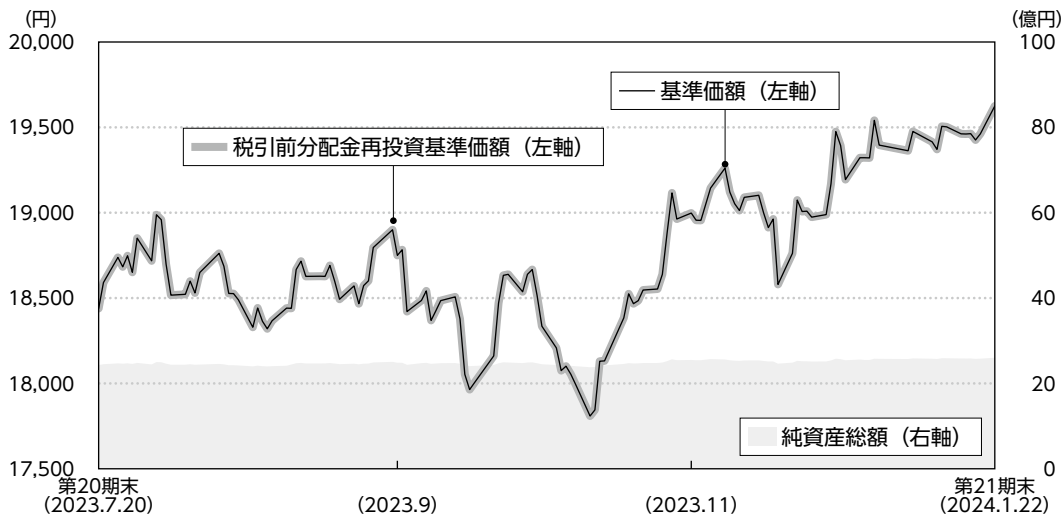
(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第21期首	18,439円	既払分配金	0円
第21期末	19,625円	騰落率 (分配金再投資ベース)	6.4%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

■ 基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

- ・ 11月上旬から12月下旬にかけて、インフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下や、生成人工知能 (A I) の需要拡大による米大手半導体企業の良好な業績発表などが好感され株価が上昇したこと
- ・ 投資家のリスク選好姿勢や日銀の金融緩和継続姿勢を受けて、期を通じて見るとおおむね円安が進行したこと

<下落要因>

- ・ 8月上旬から10月上旬にかけて、大手格付け会社による米国債の格下げや米金融引き締め長期化への懸念等を受けた米長期金利の上昇に加えて、中国における景気減速や不動産問題の深刻化、中東情勢の緊迫化などが嫌気され株価が下落したこと

1万口当たりの費用明細

項目	第21期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	118円	0.629%	$\text{信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は18,743円です。
（投信会社）	（ 31）	（0.168）	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	（ 84）	（0.447）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	（ 3）	（0.014）	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	（ 1）	（0.004）	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	（ 0）	（0.000）	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	118	0.632	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

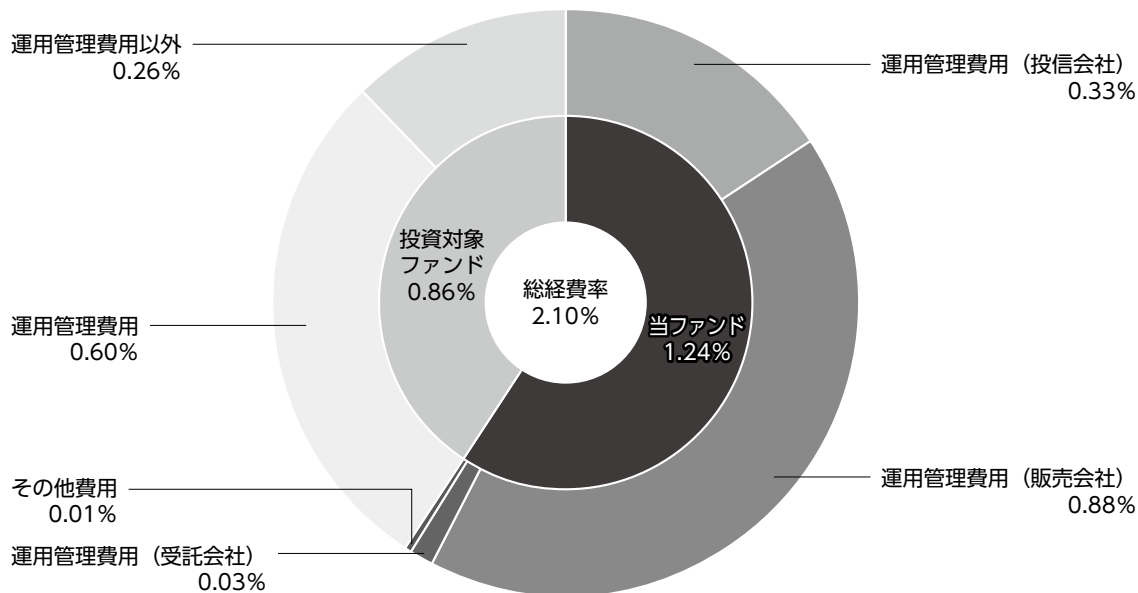
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている外国投資信託証券が支払った費用を含みません（マザーファンドを除く）。

（参考情報）

■ 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.10%**です。



総経費率 (①+②+③)	2.10%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資対象ファンドの運用管理費用の比率	0.60%
③投資対象ファンドの運用管理費用以外の比率	0.26%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資対象ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

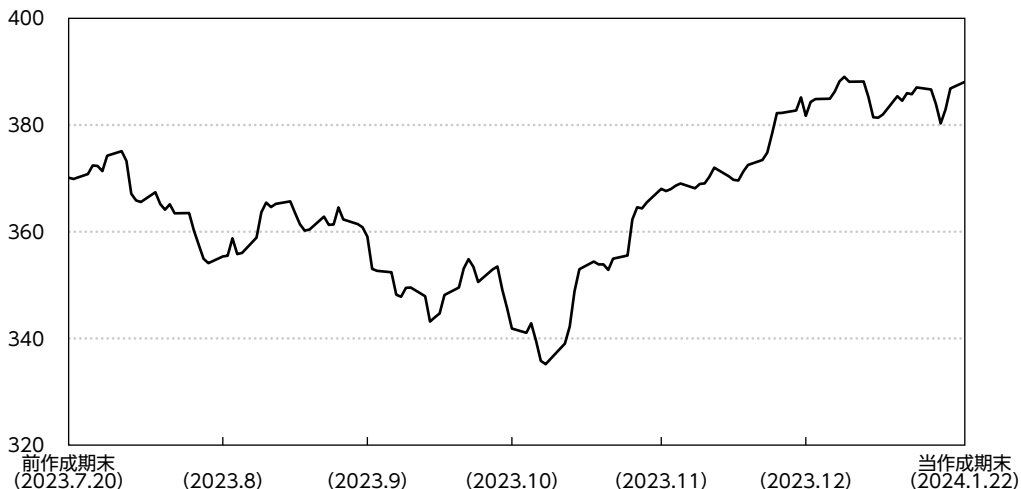
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資対象ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

株式市況

【MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）の推移】



(注) ブルームバーグのデータを使用しています。

株式市場は当作成期を通じて見ると上昇しました。

当作成期初以降、大手格付け会社による米国債の格下げや米政府機関閉鎖への懸念、全米自動車労働組合（UAW）によるストライキなど金利上昇要因が顕在化し、米金融引き締め長期化への懸念と相まって米長期金利の上昇が懸念され株価は下落する展開となりました。加えて、中国における景気減速や不動産問題の深刻化、中東情勢の緊迫化なども嫌気され株価は一時大きく下落しました。11月に入るとインフレの落ち着きなどから欧米中央銀行による金融政策の方向転換に対する期待感を背景とした米長期金利の低下から株価は持ち直す展開となりました。特に米大手半導体企業における生成AIの需要拡大による好業績発表などから半導体関連銘柄がけん引したことや、金利高が嫌気されていた不動産セクターなどを中心に買い戻しと見られる動きが鮮明となるなど、株価は上昇に転じて当作成期末を迎えました。

ポートフォリオ

■各ファンド

当作成期も外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いました。

■NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス

*現地における当作成期末の前営業日基準についての説明です。

<個別銘柄>

主に日本を含む各国の株式およびリート等に分散投資し、予想配当利回り、配当政策、流動性および個別企業分析・株価評価等を勘案してポートフォリオを構築しました。

当作成期末においても、配当利回りが相対的に高い銘柄を保有しています。テクノロジーインフラストラクチャー企業、金融サービスグループ、エレクトロニクス・オートメーション・デジタル化の分野におけるテクノロジー企業、BDC（ビジネス・デベロップメント・カンパニー）、半導体専門ICファンドリーメーカー（半導体チップの製造を専門に行う企業）など、不透明な環境下においても確かな強みがあり、優れた経営戦略を有し、強固なビジネス基盤や内部の自助努力、今後も高い配当が期待できるキャッシュフロー創出力に優れたものが多く、今後の利益成長も期待できバリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）も魅力的な水準にあると判断される企業を中心に上位に保有しています。

<国・地域別配分>

当作成期末では組入比率の高い順にアメリカ（30.2%）、台湾（11.0%）、オーストラリア（9.8%）としています。

（注1）国、地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

（注2）比率は対組入株式等評価額比です。

<業種配分>

当作成期末では、AIを主軸とした産業革命期待やデジタル社会が進む中で強い需要が継続しているクラウド・データセンター向けなどのエンド市場の成長を背景に堅調な需要が見込まれているITサービスや半導体などの関連企業を中心とした「情報技術」、事業の選択と集中で安定した成長が期待できるBDCや保険などの「金融」、エネルギー価格の変動から直接的な影響は受けにくいガス・パイプライン運営などを手掛けるエネルギー・インフラ企業を中心とした「エネルギー」の組入比率が高いポートフォリオとしています。

（注）業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

■毎月決算型

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

■年2回決算型

当ファンドは、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■ 毎月決算型

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきます。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第121期 2023年7月21日 ～ 2023年8月21日	第122期 2023年8月22日 ～ 2023年9月20日	第123期 2023年9月21日 ～ 2023年10月20日	第124期 2023年10月21日 ～ 2023年11月20日	第125期 2023年11月21日 ～ 2023年12月20日	第126期 2023年12月21日 ～ 2024年1月22日
	当期分配金（税引前）	50円	50円	50円	50円	50円
対基準価額比率	0.52%	0.51%	0.52%	0.51%	0.50%	0.49%
当期の収益	50円	50円	50円	50円	50円	50円
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,985円	3,994円	3,997円	4,007円	4,017円	4,022円

■ 年2回決算型

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	当期 2023年7月21日～2024年1月22日
	当期分配金（税引前）
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,514円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

今後も、外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。

■NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス

欧米の主要中央銀行による金融政策の緩和転換で景気支援が視野に入り、株式市場の物色も目まぐるしく変化する中で、高配当銘柄は相対的な利回りの魅力上昇や景気回復による物色などから、投資対象として比較的良好な位置にあると判断しています。当ファンドの高配当銘柄は強固なビジネス基盤や内部の自助努力、今後も高い配当が期待できるキャッシュフロー創出力に優れたものが多く、バリュエーションも魅力的な水準にあると判断しています。引き続き、適切な財務レバレッジ（借入金などを利用して多くの資金を事業に投下すること）により、着実なキャッシュフローの創出で配当支払いをしっかりとカバーでき、今後の業績・配当成長と利回りのバランスがとれた銘柄を選別していくことが重要であると考えています。

このような環境のもと、投資の視点で注目すべきことは引き続き、先進国株式市場においては確かな経営執行能力を持つ企業への厳選投資であると考えています。一方、新興国株式市場においては魅力ある成長性とバリュエーションを持つ企業への選別投資が必要であると考えており、そのためには業績の裏付けがある個別企業の成長性や、豊富な手元流動性（すぐに支払いにあてることのできる資産）の有効活用など、企業の資本政策に対する考え方に注目すべきであると考えています。

当ファンドでは特に高配当銘柄に着目し投資銘柄を厳選しています。しかし、単純に配当利回り水準のみに注目すると、成長力が乏しく、万年割安な銘柄（株価上昇が見込めない銘柄）を選択する懸念があります。そのため、個別企業の徹底した調査・分析を実施し、企業の資本政策を見極め、配当利回りが高いだけでなく、成長性が見込め、かつ、株価の上昇が期待できる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。

今後も個別企業とのコンタクトに力点を置き、企業の配当政策や成長戦略を把握した上で、事業の収益性と安定性のバランス、今後の利益成長も見込める企業を厳選し、投資を行う方針です。

■ニッセイマネーマーケットマザーファンド

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

ファンドデータ

ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）の組入資産の内容

■ 組入ファンド

	第126期末 2024年1月22日
NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X ・オープン・クラス	98.0%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

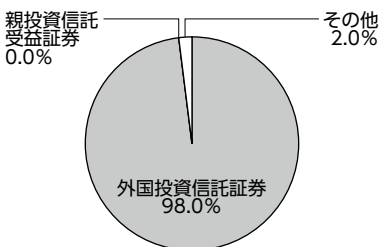
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

■ 純資産等

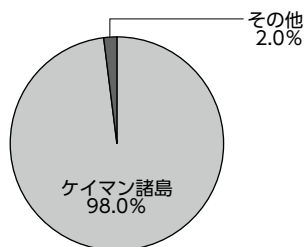
項目	第121期末 2023年8月21日	第122期末 2023年9月20日	第123期末 2023年10月20日	第124期末 2023年11月20日	第125期末 2023年12月20日	第126期末 2024年1月22日
純資産総額	4,903,468,128円	5,015,405,643円	4,873,131,412円	4,997,747,594円	5,058,269,258円	5,022,050,086円
受益権総口数	5,090,553,987口	5,115,831,429口	5,108,526,315口	5,082,278,258口	5,044,466,500口	4,995,522,318口
1万口当たり基準価額	9,632円	9,804円	9,539円	9,834円	10,027円	10,053円

(注) 当作成期間（第121期～第126期）中における追加設定元本額は295,611,719円、同解約元本額は226,439,764円です。

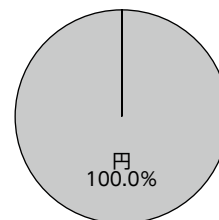
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年1月22日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ世界高配当株ファンド（年2回決算型）の組入資産の内容

組入ファンド

	第21期末 2024年1月22日
NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス	98.0%
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	0.0

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

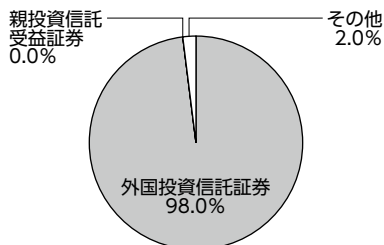
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

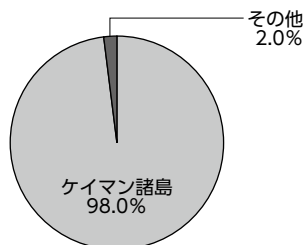
項目	第21期末 2024年1月22日
純資産総額	2,601,482,944円
受益権総口数	1,325,612,797口
1万口当たり基準価額	19,625円

(注) 当期間中における追加設定元本額は60,632,648円、同解約元本額は52,715,334円です。

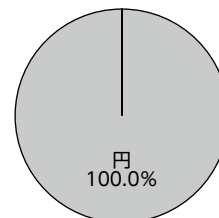
資産別配分



国別配分



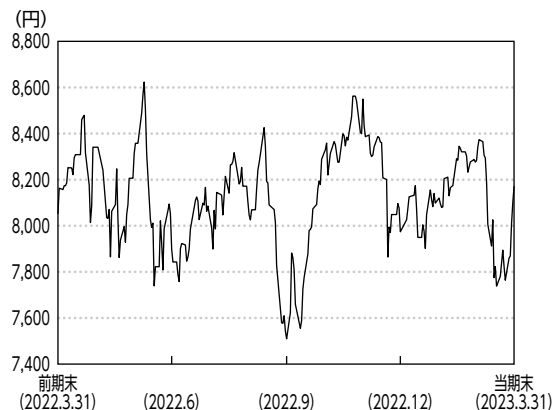
通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2024年1月22日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラスの概要

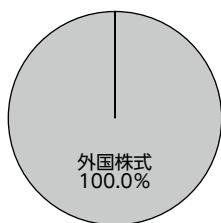
■ 税引前分配金再投資基準価額の推移



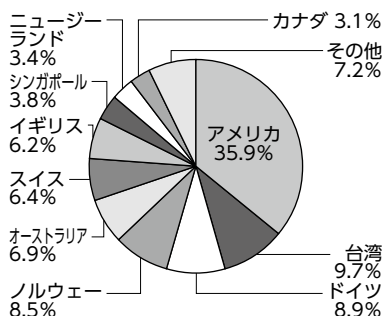
■ 上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
INTL BUSINESS MACHINES CO	米ドル	4.7%
COCA-COLA CO/THE	米ドル	4.6%
ARES CAPITAL CORP	米ドル	4.2%
SIEMENS AG-REG	ユーロ	4.1%
DBS GROUP HOLDINGS LTD	シンガポール・ドル	3.8%
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANU	台湾ドル	3.7%
PFIZER INC	米ドル	3.5%
SPARK NEW ZEALAND LTD	ニュージーランド・ドル	3.4%
ATEA ASA	ノルウェー・クローネ	3.4%
DEUTSCHE POST AG-REG	ユーロ	3.3%
組入銘柄数		50

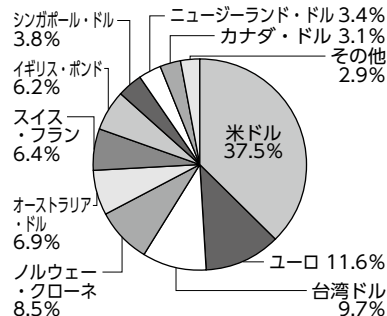
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 税引前分配金再投資基準価額の推移は、外国投資信託証券の直近の決算期のものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

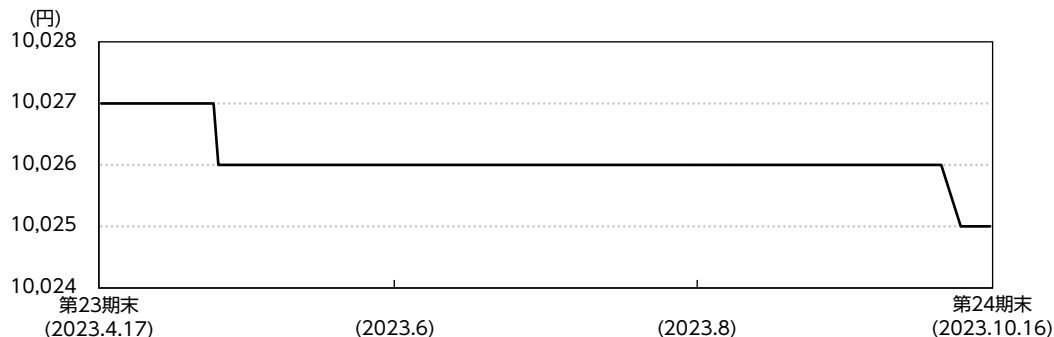
(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、外国投資信託証券決算日（2023年3月31日現在）のものであり、比率は外国投資信託証券のポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 1万円当たりの費用明細は、入手が困難であるため記載していません。

(注4) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の投資有価証券明細表をご参照下さい。

ニッセイマネーマーケットマザーファンドの概要

■ 基準価額の推移



■ 上位銘柄

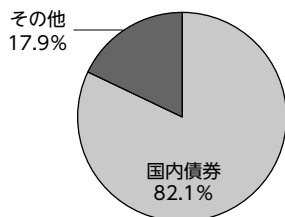
銘柄名	通貨	比率
第132回 共同発行市場公募地方債	円	21.6%
平成26年度第4回 京都府公募公債	円	13.9
第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	円	13.9
平成25年度第11回 埼玉県公募公債	円	12.0
第727回 東京都公募公債	円	11.0
令和元年度第1回 長崎県公募公債	円	7.8
第1121回 国庫短期証券	円	1.9
組入銘柄数		7

■ 1万口当たりの費用明細

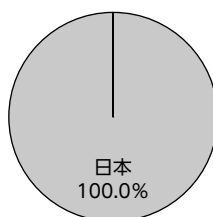
2023.4.18~2023.10.16

項目	金額
その他費用 (その他)	0円 (0)
合計	0

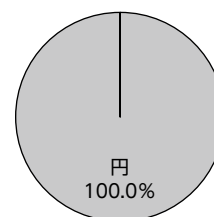
■ 資産別配分



■ 国別配分



■ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2023年10月16日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）

最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率	純資産 総額
	円	円	%	円	%	%	百万円
97期(2021年 8 月20日)	8,578	50	2.4	13,378	98.2	0.0	5,103
98期(2021年 9 月21日)	8,513	50	△0.2	13,363	98.1	0.0	4,936
99期(2021年10月20日)	8,896	50	5.1	13,796	98.1	0.0	5,082
100期(2021年11月22日)	8,922	50	0.9	13,872	98.0	0.0	4,987
101期(2021年12月20日)	9,017	50	1.6	14,017	98.0	0.0	5,003
102期(2022年 1 月20日)	9,357	50	4.3	14,407	98.1	0.0	5,056
103期(2022年 2 月21日)	9,241	50	△0.7	14,341	98.2	0.0	4,948
104期(2022年 3 月22日)	9,503	50	3.4	14,653	98.1	0.0	5,076
105期(2022年 4 月20日)	10,176	50	7.6	15,376	98.0	0.0	5,342
106期(2022年 5 月20日)	9,412	50	△7.0	14,662	98.2	0.0	4,844
107期(2022年 6 月20日)	9,299	50	△0.7	14,599	97.9	0.0	4,753
108期(2022年 7 月20日)	9,573	50	3.5	14,923	98.2	0.0	4,814
109期(2022年 8 月22日)	9,753	50	2.4	15,153	98.1	0.0	4,834
110期(2022年 9 月20日)	9,433	50	△2.8	14,883	97.9	0.0	4,655
111期(2022年10月20日)	9,253	50	△1.4	14,753	98.2	0.0	4,535
112期(2022年11月21日)	9,634	50	4.7	15,184	98.0	0.0	4,533
113期(2022年12月20日)	9,383	50	△2.1	14,983	97.9	0.0	4,360
114期(2023年 1 月20日)	8,987	50	△3.7	14,637	98.4	0.0	4,143
115期(2023年 2 月20日)	9,396	50	5.1	15,096	98.0	0.0	4,323
116期(2023年 3 月20日)	8,693	50	△6.9	14,443	98.0	0.0	3,995
117期(2023年 4 月20日)	9,298	50	7.5	15,098	98.0	0.0	4,249
118期(2023年 5 月22日)	9,354	50	1.1	15,204	98.0	0.0	4,291
119期(2023年 6 月20日)	9,871	50	6.1	15,771	97.3	0.0	4,675
120期(2023年 7 月20日)	9,738	50	△0.8	15,688	97.8	0.0	4,797
121期(2023年 8 月21日)	9,632	50	△0.6	15,632	97.5	0.0	4,903
122期(2023年 9 月20日)	9,804	50	2.3	15,854	98.3	0.0	5,015
123期(2023年10月20日)	9,539	50	△2.2	15,639	98.0	0.0	4,873
124期(2023年11月20日)	9,834	50	3.6	15,984	98.3	0.0	4,997
125期(2023年12月20日)	10,027	50	2.5	16,227	97.7	0.0	5,058
126期(2024年 1 月22日)	10,053	50	0.8	16,303	98.0	0.0	5,022

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注4) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率		NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率
第 121 期	(期首)	円	%		%	%
	2023年7月20日	9,738	—		97.8	0.0
	7月末	9,885	1.5		97.5	0.0
第 122 期	(期末)					
	2023年8月21日	9,682	△0.6		97.5	0.0
	(期首)					
第 122 期	2023年8月21日	9,632	—		97.5	0.0
	8月末	9,836	2.1		97.9	0.0
	(期末)					
第 123 期	2023年9月20日	9,854	2.3		98.3	0.0
	(期首)					
	2023年9月20日	9,804	—		98.3	0.0
第 123 期	9月末	9,666	△1.4		97.9	0.0
	(期末)					
	2023年10月20日	9,589	△2.2		98.0	0.0
第 124 期	(期首)					
	2023年10月20日	9,539	—		98.0	0.0
	10月末	9,286	△2.7		97.8	0.0
第 124 期	(期末)					
	2023年11月20日	9,884	3.6		98.3	0.0
	(期首)					
第 125 期	2023年11月20日	9,834	—		98.3	0.0
	11月末	9,842	0.1		98.3	0.0
	(期末)					
第 125 期	2023年12月20日	10,077	2.5		97.7	0.0
	(期首)					
	2023年12月20日	10,027	—		97.7	0.0
第 126 期	12月末	9,986	△0.4		98.2	0.0
	(期末)					
	2024年1月22日	10,103	0.8		98.0	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）

売買および取引の状況

2023年7月21日～2024年1月22日

(1) 投資信託証券

	第121期～第126期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 4,517	千円 348,496	千口 3,321	千円 257,730

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	第121期～第126期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当作成期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2023年7月21日～2024年1月22日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2024年1月22日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	第120期末	第126期末		
	口数	口数	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 60,931	千口 62,127	千円 4,922,341	% 98.0
合計	60,931	62,127	4,922,341	98.0

(注1) 比率は、当作成期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	第120期末	第126期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当作成期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は1,397,289千口です。

ニッセイ世界高配当株ファンド（毎月決算型）

投資信託財産の構成

2024年1月22日現在

項目	第126期末	
	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エグイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千円 4,922,341	% 97.4
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	130,297	2.6
投資信託財産総額	5,052,648	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2023年8月21日)	(2023年9月20日)	(2023年10月20日)	(2023年11月20日)	(2023年12月20日)	(2024年1月22日) 現在
	第121期末	第122期末	第123期末	第124期末	第125期末	第126期末
(A) 資産	4,936,168,584円	5,049,344,101円	4,927,438,476円	5,042,314,648円	5,088,821,041円	5,052,648,912円
コール・ローン等	153,914,025	116,906,098	154,016,476	128,897,380	129,160,972	130,297,127
NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エグイティ・ファンド FX・ オープン・クラス(評価額)	4,782,244,550	4,932,427,994	4,773,411,992	4,913,407,260	4,939,870,061	4,922,341,777
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	10,009	10,009	10,008	10,008	10,008	10,008
未収入金	-	-	-	-	19,780,000	-
(B) 負債	32,700,456	33,938,458	54,307,064	44,567,054	30,551,783	30,598,826
未払収益分配金	25,452,769	25,579,157	25,542,631	25,411,391	25,222,332	24,977,611
未払解約金	1,897,432	3,278,426	23,730,214	14,019,177	246,767	100
未払信託報酬	5,325,374	5,057,442	5,010,914	5,112,645	5,059,245	5,595,157
その他未払費用	24,881	23,433	23,305	23,841	23,439	25,958
(C) 純資産総額(A-B)	4,903,468,128	5,015,405,643	4,873,131,412	4,997,747,594	5,058,269,258	5,022,050,086
元本	5,090,553,987	5,115,831,429	5,108,526,315	5,082,278,258	5,044,466,500	4,995,522,318
次期繰越損益金△	187,085,859	100,425,786	235,394,903	84,530,664	13,802,758	26,527,768
(D) 受益権総口数	5,090,553,987口	5,115,831,429口	5,108,526,315口	5,082,278,258口	5,044,466,500口	4,995,522,318口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,632円	9,804円	9,539円	9,834円	10,027円	10,053円

(注) 当作成期首元本額 4,926,350,363円
 当作成期中追加設定元本額 295,611,719円
 当作成期中一部解約元本額 226,439,764円

ニッセイ世界高配当株ファンド (毎月決算型)

損益の状況

	(第121期 第122期 第123期)	2023年7月21日～2023年8月21日) 2023年8月22日～2023年9月20日) 2023年9月21日～2023年10月20日)	(第124期 第125期 第126期)	2023年10月21日～2023年11月20日) 2023年11月21日～2023年12月20日) 2023年12月21日～2024年1月22日)		
項目	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期
(A) 配当等収益	43,635,190円	31,647,819円	31,751,011円	31,676,912円	31,522,848円	31,169,229円
受取配当金	43,644,982	31,655,417	31,754,470	31,678,319	31,524,082	31,172,690
受取利息	211	455	472	124	74	5
支払利息	△ 10,003	△ 8,053	△ 3,931	△ 1,531	△ 1,308	△ 3,466
(B) 有価証券売買損益	△ 68,410,977	86,170,719	△ 135,805,161	148,618,700	96,464,782	12,283,790
売買益	6,286	86,501,255	609,581	149,181,978	96,927,642	12,715,924
売買損	△ 68,417,263	△ 330,536	△ 136,414,742	△ 563,278	△ 462,860	△ 432,134
(C) 信託報酬等	△ 5,350,339	△ 5,080,951	△ 5,034,270	△ 5,136,560	△ 5,082,762	△ 5,621,156
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 30,126,126	112,737,587	△ 109,088,420	175,159,052	122,904,868	37,831,863
(E) 前期繰越損益金	△ 67,856,069	△ 122,708,495	△ 35,253,531	△ 168,685,788	△ 18,750,299	78,082,385
(分配準備積立金)	(1,216,039,548)	(1,221,639,170)	(1,216,113,754)	(1,208,698,032)	(1,202,020,087)	(1,194,072,348)
(繰越欠損金)	(△1,283,895,617)	(△1,344,347,665)	(△1,251,367,285)	(△1,377,383,820)	(△1,220,770,386)	(△1,115,989,963)
(F) 追加信託差損益金*	△ 63,650,895	△ 64,875,721	△ 65,510,321	△ 65,592,537	△ 65,129,479	△ 64,408,869
(配当等相当額)	(800,077,004)	(817,400,721)	(824,725,811)	(822,824,341)	(819,713,522)	(813,047,066)
(売買損益相当額)	(△ 863,727,899)	(△ 882,276,442)	(△ 890,236,132)	(△ 888,416,878)	(△ 884,843,001)	(△ 877,455,935)
(G) 合計(D+E+F)	△ 161,633,090	△ 74,846,629	△ 209,852,272	△ 59,119,273	39,025,090	51,505,379
(H) 収益分配金	△ 25,452,769	△ 25,579,157	△ 25,542,631	△ 25,411,391	△ 25,222,332	△ 24,977,611
次期繰越損益金(G+H)	△ 187,085,859	△ 100,425,786	△ 235,394,903	△ 84,530,664	13,802,758	26,527,768
追加信託差損益金	△ 63,650,895	△ 64,875,721	△ 65,510,321	△ 65,592,537	△ 65,129,479	△ 64,408,869
(配当等相当額)	(800,077,004)	(817,400,721)	(824,725,811)	(822,824,341)	(819,713,522)	(813,047,066)
(売買損益相当額)	(△ 863,727,899)	(△ 882,276,442)	(△ 890,236,132)	(△ 888,416,878)	(△ 884,843,001)	(△ 877,455,935)
分配準備積立金	1,228,871,630	1,226,343,089	1,217,287,864	1,214,061,059	1,207,068,719	1,196,231,911
繰越欠損金	△1,352,306,594	△1,261,893,154	△1,387,172,446	△1,232,999,186	△1,128,136,482	△1,105,295,274

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第121期	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期
(a) 経費控除後の配当等収益	38,284,851円	30,283,076円	26,716,741円	30,774,418円	30,270,964円	27,137,174円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	800,077,004円	817,400,721円	824,725,811円	822,824,341円	819,713,522円	813,047,066円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	1,216,039,548円	1,221,639,170円	1,216,113,754円	1,208,698,032円	1,202,020,087円	1,194,072,348円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	2,054,401,403円	2,069,322,967円	2,067,556,306円	2,062,296,791円	2,052,004,573円	2,034,256,588円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	4,035.71円	4,044.94円	4,047.27円	4,057.82円	4,067.83円	4,072.16円
(g) 分配金	25,452,769円	25,579,157円	25,542,631円	25,411,391円	25,222,332円	24,977,611円
(h) 分配金(1万口当たり)	50円	50円	50円	50円	50円	50円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

ニッセイ世界高配当株ファンド（年2回決算型）

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考) 基準価額+ 累計分配金	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率	純資産 総額
17期 (2022年1月20日)	16,092	0	14.9	16,092	98.4	0.0	2,390
18期 (2022年7月20日)	17,001	0	5.6	17,001	98.4	0.0	2,396
19期 (2023年1月20日)	16,467	0	△ 3.1	16,467	98.0	0.0	2,287
20期 (2023年7月20日)	18,439	0	12.0	18,439	98.5	0.0	2,429
21期 (2024年1月22日)	19,625	0	6.4	19,625	98.0	0.0	2,601

(注1) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注2) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	NAM・グローバル・ ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	債券 組入比率
(期首) 2023年7月20日	18,439	—	98.5	0.0
7月末	18,718	1.5	98.0	0.0
8月末	18,716	1.5	98.2	0.0
9月末	18,485	0.2	98.2	0.0
10月末	17,845	△3.2	98.5	0.0
11月末	19,013	3.1	98.4	0.0
12月末	19,396	5.2	97.9	0.0
(期末) 2024年1月22日	19,625	6.4	98.0	0.0

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

売買および取引の状況

2023年7月21日～2024年1月22日

(1) 投資信託証券

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 2,455	千円 189,837	千口 1,349	千円 105,860

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 口数および金額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 -	千円 -	千口 -	千円 -

(注) 当期における親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

利害関係人との取引状況等

2023年7月21日～2024年1月22日

当期における利害関係人との取引はありません。

組入有価証券明細表

2024年1月22日現在

(1) 投資信託証券

ファンド名	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千口 31,078	千口 32,184	千円 2,549,971	% 98.0
合計	31,078	32,184	2,549,971	98.0

(注1) 比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。以下同じです。

(2) 親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	千口 9	千口 9	千円 10

(注) 当期末におけるニッセイマネーマーケットマザーファンド全体の口数は1,397,289千口です。

投資信託財産の構成

2024年1月22日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
NAM・グローバル・ハイディビデンド・ エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス	千円 2,549,971	% 97.3
ニッセイマネーマーケットマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	71,123	2.7
投資信託財産総額	2,621,105	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイ世界高配当株ファンド（年2回決算型）

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年1月22日現在)

項目	当期末
(A) 資産	2,621,105,359円
コール・ローン等	71,123,787
N A M ・ グローバル ・ ハイディビデンド ・ エクイティ ・ ファンド FX ・ オープン ・ クラス(評価額)	2,549,971,564
ニッセイマネーマーケット マザーファンド(評価額)	10,008
(B) 負債	19,622,415
未払解約金	3,892,600
未払信託報酬	15,640,678
その他未払費用	89,137
(C) 純資産総額(A - B)	2,601,482,944
元本	1,325,612,797
次期繰越損益金	1,275,870,147
(D) 受益権総口数	1,325,612,797口
1万口当たり基準価額(C / D)	19,625円

(注) 期首元本額	1,317,695,483円
期中追加設定元本額	60,632,648円
期中一部解約元本額	52,715,334円

損益の状況

当期 (2023年7月21日～2024年1月22日)

項目	当期
(A) 配当等収益	99,860,052円
受取配当金	99,872,018
受取利息	669
支払利息	△ 12,635
(B) 有価証券売買損益	71,562,517
売買益	72,719,189
売買損	△ 1,156,672
(C) 信託報酬等	△ 15,730,274
(D) 当期損益金(A + B + C)	155,692,295
(E) 前期繰越損益金	927,769,656
(分配準備積立金)	(1,406,656,836)
(繰越欠損金)	(△ 478,887,180)
(F) 追加信託差損益金*	192,408,196
(配当等相当額)	(294,095,260)
(売買損益相当額)	(△ 101,687,064)
(G) 合計(D + E + F)	1,275,870,147
次期繰越損益金(G)	1,275,870,147
追加信託差損益金	192,408,196
(配当等相当額)	(294,095,260)
(売買損益相当額)	(△ 101,687,064)
分配準備積立金	1,497,354,003
繰越欠損金	△ 413,892,052

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	90,697,167円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	294,095,260円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	1,406,656,836円
(e) 分配対象額(a + b + c + d)	1,791,449,263円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	13,514.12円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

各ファンドの概要

		毎月決算型	年2回決算型
商 品 分 類		追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間		2013年7月23日～2028年7月20日	
運 用 方 針		外国投資信託証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式およびリート（不動産投資信託）等を実質的な主要投資対象とし、配当等収益の確保と信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ世界高配株ファンド	「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス」および「ニッセイマネーマーケットマザーファンド」	
	NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド F X・オープン・クラス	日本を含む各国の株式およびリート等	
	ニッセイマネーマーケットマザーファンド	円建ての短期公社債および短期金融商品	
運 用 方 法		<p>以下の様な投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への直接投資は行いません。 ・株式への直接投資は行いません。 	
分 配 方 針		<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p>	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、信託財産の成長に資することを目的に、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p>

以下は、「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス」および「NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド カレンシー・セレクト・クラス」（ケイマン籍外国投資信託証券）の2023年3月31日現在の財務諸表のうち、同ファンドにかかる部分を、委託会社において抜粋し、その原文を翻訳したものです。

同ファンドの財務諸表は、現地の諸法規に準拠して作成されており、独立監査人の監査を受けております。なお、「投資有価証券明細表」については、独立監査人の監査を受けておりません。

(1) 損益計算書（2022年4月1日～2023年3月31日）

<NAM・グローバル・ハイディビデンド・エクイティ・ファンド FX・オープン・クラス
/カレンシー・セレクト・クラス>

	(円)
収益	
配当金	426,705,844
受取利息	9,682,280
外国為替取引益（損）	141,933,813
有価証券取引益（損）（評価損益を含む）	(132,383,911)
収益（損失）合計	445,938,026
費用	
管理事務代行報酬	6,502,726
管理報酬	44,584,620
年次規制手数料	990,291
名義書換代行報酬	5,008,838
信託報酬	2,775,951
監査報酬	8,815,156
外部専門家支払報酬	4,494,595
受託者報酬	2,717,183
取引費用	7,324,532
サービス手数料	237,485
費用合計	83,451,377
税引前利益（損失）	362,486,649
源泉税	(119,052,357)
運用による買戻可能参加受益証券保有者に帰属する純資産の純増（減）（受益者に対する分配前）	243,434,292
受益者に対する分配	(1,153,546,807)
運用による買戻可能参加受益証券保有者に帰属する純資産の純増（減）	910,112,515

(2) 投資有価証券明細表 (2023年3月31日現在)
NAM GLOBAL HIGH DIVIDEND EQUITY FUND

Description	Holding / Shares	Issue/ Settle Curr	Market Value (Base)
INTL BUSINESS MACHINES CO	19,927.0000	U S D	347,648,447.00
COCA-COLA CO/THE	41,189.0000	U S D	340,025,775.00
ARES CAPITAL CORP	126,588.0000	U S D	307,878,054.00
SIEMENS AG-REG	14,035.0000	E U R	302,901,113.00
DBS GROUP HOLDINGS LTD	85,700.0000	S G D	283,093,093.00
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANU	117,000.0000	T W D	272,587,794.00
PFIZER INC	47,939.0000	U S D	260,302,262.00
SPARK NEW ZEALAND LTD	605,647.0000	N Z D	255,189,759.00
ATEA ASA	153,211.0000	N O K	249,212,220.00
DEUTSCHE POST AG-REG	39,291.0000	E U R	244,801,791.00
RIO TINTO PLC	26,261.0000	G B P	236,724,960.00
WILLIAMS COS INC	59,291.0000	U S D	235,617,415.00
NATIONAL GRID PLC	124,001.0000	G B P	223,740,492.00
ABBVIE INC	10,347.0000	U S D	219,457,199.00
ROCHE HOLDING AG-GENUSSCH	5,080.0000	C H F	193,127,331.00
BROADCOM INC	2,250.0000	U S D	192,103,407.00
SWISS RE AG	11,886.0000	C H F	162,497,413.00
EOG RESOURCES INC	10,209.0000	U S D	155,743,635.00
CHEVRON CORP	6,893.0000	U S D	149,675,523.00
ASE TECHNOLOGY HOLDING CO	303,000.0000	T W D	149,000,761.00
VEIDEKKE ASA	94,781.0000	N O K	133,935,434.00
VOLVO AB-B SHS	47,510.0000	S E K	130,400,358.00
MANULIFE FINANCIAL CORP	51,407.0000	C A D	125,370,597.00
AMCOR PLC	77,958.0000	U S D	118,067,879.00
NOVARTIS AG-REG	9,489.0000	C H F	115,792,343.00
MERCEDES-BENZ GROUP AG	10,630.0000	E U R	108,789,965.00
APA GROUP	119,938.0000	A U D	108,189,015.00
PROSPECT CAPITAL CORP	116,246.0000	U S D	107,675,294.00
ROYAL BANK OF CANADA	8,448.0000	C A D	107,375,750.00
WALGREENS BOOTS ALLIANCE	21,900.0000	U S D	100,785,467.00
DOW INC	12,693.0000	U S D	92,604,506.00
MEDIATEK INC	26,000.0000	T W D	89,441,982.00
IBERDROLA SA	53,553.0000	E U R	88,932,361.00
VODACOM GROUP LTD	93,076.0000	Z A R	85,206,096.00
RURAL FUNDS GROUP	439,174.0000	A U D	78,291,113.00
KONINKLIJKE PHILIPS NV	31,423.0000	E U R	76,494,741.00
NEWELL BRANDS INC	45,494.0000	U S D	75,318,786.00
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	5,799.0000	U S D	75,053,600.00
BHP GROUP LTD	17,346.0000	A U D	73,023,583.00
NINE ENTERTAINMENT CO HOL	402,771.0000	A U D	70,724,563.00
REALTEK SEMICONDUCTOR COR	41,000.0000	T W D	69,446,266.00
HON HAI PRECISION INDUSTR	137,000.0000	T W D	62,279,805.00
EQUINOR ASA	15,292.0000	N O K	58,045,550.00
SUPER RETAIL GROUP LTD	45,067.0000	A U D	50,413,660.00
SIMPLIO TECHNOLOGY CO LTD	32,000.0000	T W D	42,382,439.00
TIETOEVRY OYJ	8,746.0000	E U R	36,572,342.00
KMC KUEI MENG INTERNATIONAL	56,000.0000	T W D	35,003,978.00

ニッセイマネーマーケット マザーファンド

運用報告書

第 24 期

(計算期間：2023年4月18日～2023年10月16日)

運用方針

- ① 円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。
- ② 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

主要運用 対象

円建ての短期公社債および短期金融商品

運用方法

以下の様な投資制限のもと運用を行います。
・外貨建資産への投資は行いません。



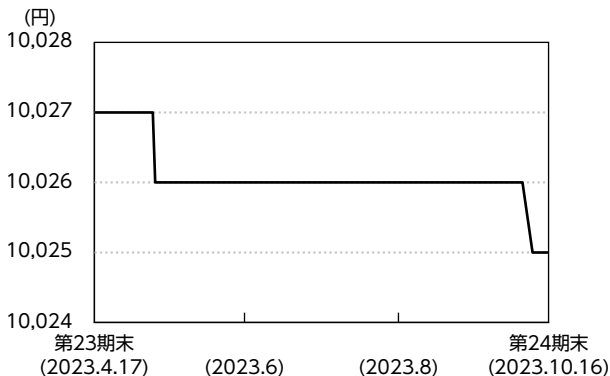
ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過

2023年4月18日～2023年10月16日

基準価額等の推移



■ 基準価額の主な変動要因

<下落要因>

- ・前期末以降、無担保コールレート翌日物のマイナス金利等が影響したこと

(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

ポートフォリオ

円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざしました。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざして運用を行うことから、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

当マザーファンドは、円建ての短期公社債および短期金融商品に投資を行い、安定した収益と流動性の確保をめざします。

今後も引き続き、安定した収益確保のため、短期証券を中心に投資していく方針です。

お知らせ

■ 約款変更

デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、関連条項に所要の変更を行いました。

(2023年7月26日)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額	期中	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
	円	%	%	百万円
20期 (2021年10月15日)	10,030	0.0	69.5	50
21期 (2022年4月15日)	10,029	△0.0	69.5	50
22期 (2022年10月17日)	10,029	0.0	79.4	50
23期 (2023年4月17日)	10,027	△0.0	89.9	706
24期 (2023年10月16日)	10,025	△0.0	82.1	720

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
	円	%	%
(期首)2023年4月17日	10,027	—	89.9
4月末	10,027	0.0	89.3
5月末	10,026	△0.0	66.3
6月末	10,026	△0.0	63.0
7月末	10,026	△0.0	72.3
8月末	10,026	△0.0	81.1
9月末	10,026	△0.0	81.2
(期末)2023年10月16日	10,025	△0.0	82.1

(注) 騰落率は期首比です。

1万口当たりの費用明細

2023年4月18日～2023年10月16日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	0円	0.000%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	・ 信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・ 借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（10,026円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2023年4月18日～2023年10月16日

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	地方債証券	322,340	— (165,000)
	特殊債券	—	— (200,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2023年4月18日～2023年10月16日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
		千円	
平成26年度第4回 京都府公募公債	100,628	—	—
平成25年度第11回 埼玉県公募公債	86,450		
第727回 東京都公募公債	79,257		
令和元年度第1回 長崎県公募公債	56,004		

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

組入有価証券明細表

2023年10月16日現在

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	%
国債証券	14,000 (14,000)	14,001 (14,001)	1.9 (1.9)	—	—	—	—	1.9 (1.9)
地方債証券	476,000 (476,000)	477,237 (477,237)	66.3 (66.3)	—	—	—	—	66.3 (66.3)
特殊債券 (除く金融債券)	100,000 (100,000)	100,030 (100,030)	13.9 (13.9)	—	—	—	—	13.9 (13.9)
合計	590,000 (590,000)	591,269 (591,269)	82.1 (82.1)	—	—	—	—	82.1 (82.1)

(注1) 評価については、原則として証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。ただし、残存期間1年以内の公社債については、償却原価法により評価しています。以下同じです。

(注2) ()内は非上場債であり、上段の数字の内訳です。

(注3) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注4) 額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘柄名	利率	償還年月日	額面金額	評価額
		%		千円	千円
国債証券	第1121回 国庫短期証券	—	2023/11/20	14,000	14,001
	小計	—	—	—	14,001
地方債証券	第727回 東京都公募公債	0.7200	2023/12/20	79,000	79,100
	平成26年度第4回 京都府公募公債	0.6640	2024/ 6 /20	100,000	100,454
	平成25年度第11回 埼玉県公募公債	0.6550	2024/ 3 /26	86,000	86,244
	第132回 共同発行市場公募地方債	0.6600	2024/ 3 /25	155,000	155,435
	令和元年度第1回 長崎県公募公債	0.0100	2024/ 6 /26	56,000	56,003
	小計	—	—	—	477,237
特殊債券 (除く金融債券)	第202回 政保日本高速道路保有・債務返済機構債券	0.6990	2023/10/31	100,000	100,030
	小計	—	—	—	100,030
	合計	—	—	—	591,269

投資信託財産の構成

2023年10月16日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	591,269	82.0
コール・ローン等、その他	130,227	18.0
投資信託財産総額	721,496	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てています。

ニッセイマネーマーケットマザーファンド

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年10月16日現在)

項目	当期末
(A)資産	721,496,958円
コ ー ル ・ ロ ー ン 債 (評価額)	129,585,003
公 社 債 (評価額)	591,269,516
未 収 利 息	590,905
前 払 費 用	51,534
(B)負債	1,163,467
未 払 解 約 債 金	1,163,365
そ の 他 未 払 費 用	102
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	720,333,491
元 本	718,501,875
次 期 繰 越 損 益 金	1,831,616
(D)受 益 権 総 口 数	718,501,875口
1万口当たり基準価額 (C / D)	10,025円

(注1) 期首元本額	704,956,153円
期中追加設定元本額	104,036,090円
期中一部解約元本額	90,490,368円
(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。	
ニッセイグローバル好配当株式プラス(毎月決算型)	10,000円
ニッセイマネーマーケットファンド(適格機関投資家限定)	49,952,497円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(毎月決算型)	9,994円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイアメリカ高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(毎月決算型)	9,984円
ニッセイ世界高配当株ファンド(年2回決算型)	9,984円
ニッセイ世界ハイリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・通貨プレミアムコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・為替ヘッジありコース)	9,977円
ニッセイ世界ハイリッド証券戦略ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなしコース)	9,977円
J P X 日経400アクティブ・オープン米ドル投資型	9,976円
J P X 日経400アクティブ・プレミアム・オープン(毎月決算型)	9,976円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(毎月決算型)	9,974円
ニッセイ・オーストラリア・リート・オープン(年2回決算型)	9,974円
ニッセイ/MF S 外国株低ボラティリティ運用ファンド	9,967円
ニッセイ A I 関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	9,967円
ニッセイ A I 関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	9,967円
ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド(資産成長型)	9,968円
D C ニッセイターゲットデットファンド 2 0 2 5	668,110,536円
ニッセイ/コムジスト新興国成長株ファンド(資産成長型)	9,969円
ニッセイ/コムジスト新興国成長株ファンド(年2回決算型)	9,969円
ニッセイ A I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ A I 関連株式ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW 債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW 債券戦略ファンド(3ヵ月決算型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/T CW 債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,969円
ニッセイ/T CW 債券戦略ファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,969円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジあり)	9,970円
ニッセイ/シュロダー・グローバルCBファンド(資産成長型・為替ヘッジなし)	9,970円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(予想配分金提示型)	9,972円
グローバル・ディスラプター成長株ファンド(資産成長型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(予想配分金提示型)	9,972円
ニッセイ新興国テクノロジー関連株式ファンド(資産成長型)	9,972円
既定追加型・横上償還多項付ニッセイ世界リカーリ-株式厳選ファンド(為替ヘッジあり)	9,973円
既定追加型・横上償還多項付ニッセイ世界リカーリ-株式厳選ファンド(為替ヘッジなし)	9,973円
ニッセイ/シュロダー・好利回りCBファンド2023-02(為替ヘッジあり・既定追加型)	9,974円
既定追加型・横上償還多項付ニッセイ世界リカーリ-株式厳選ファンド2023-07(為替ヘッジあり)	9,975円
既定追加型・横上償還多項付ニッセイ世界リカーリ-株式厳選ファンド2023-07(為替ヘッジなし)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(資産成長型)	9,975円
ニッセイ・マルチアセット・インカム戦略ファンド(毎月決算型)	9,975円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(毎月決算型・為替ヘッジなし)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジあり)	9,968円
ニッセイ米国不動産投資法人債ファンド(年2回決算型・為替ヘッジなし)	9,968円

損益の状況

当期 (2023年4月18日~2023年10月16日)

項目	当期
(A)配 当 等 収 益	1,734,560円
受 取 利 息	1,788,938
支 払 利 息	△ 54,378
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,815,052
売 買 損 益	△ 1,815,052
(C)信 託 報 酬 等	△ 1,705
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 82,197
(E)前 期 繰 越 損 益 金	1,877,347
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	271,311
(G)解 約 差 損 益 金	△ 234,845
(H)合 計 (D + E + F + G)	1,831,616
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	1,831,616

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
- (注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
- (注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。